



謹
賀
新
年



議長年頭あいさつ	2P
議案審議・一般質問	3～7P
議会報告他	8P

議長年頭あいさつ

村民の皆さん、明けましておめでとうございます。令和6年の新しい年を迎え心からお慶び申し上げます。年明け早々1日1日に石川県で発生した令和6年能登半島地震が発生しました。被災された地域、被災された皆様に対して心中お察し申し上げ、心よりお見舞い申し上げるとともに1日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

御嶽山噴火災害から9年の流れの中で様々な出来事がありました。ここに来てようやく御嶽山の頂上まで登山が可能となり以前の活気が戻ってまいりました。今後、災害時を風化させない為にも、監視態勢、防災面、登山者にどう向き合っていくのか等、様々な角度から課題に取り組みつつ衰退傾向にある全ての観光産業が好循環に転ずるようスピード感を持って議会の本来的役割を果たして参りたいと思います。

昨年6月王滝村消防団では、深い郷土愛と強い責任感により献身的に消防業務に携わって来られたその成果が松原スポーツ公園において木曽郡ポンプ操法大会第二部でみごと14年振りの優勝を果たし県大会にも出場の上好成績を上げられました。今後とも住民のために一層のご活躍を期待するものです。

国内は、新型コロナウイルスが5類に移行されたもののインフルエンザと同時流行が重なり、生活面・仕事面などに大きな打撃となっている事に加え、令和の大騒動とも言える、政治とカネ(パーティ券無記載キックバック)を巡り揺れ動く国政、政治不信は益々国民目線から離れ政治不信を招く結果となってきている。この現実を根本的に体質改善を行い国民の信頼回復が不可欠である。

村の動向はコロナ禍、温暖化、気候変動など様々な災害に加え原油価格の値上といった生活、仕事面、観光環境など地域経済は冷え込む一方で、経済的にも大変厳しい状況が続いております。特に村にとって重要な事は次世代の人づくりです。「出産、子育てする若者の定住化、若者の住みよい環境作り、担い手不足、なり手不足が深刻化、空き家対策にしても早急な検討が不可欠。加え福祉の充実、住みよい村づくり」など多くの課題に向けた底上げが必要でありますので引き続き提案、要望など提言して参りたいと思います

さて、中学校が木曽町に編入されてから1年、今後小学校児童の村の実状に併せ学校教育法を鑑み今後の在り方など検証し検討する必要が求められます。また、議会活動の一環として開かれた議会を計画したものの、スキー場の訴訟がらみで村民から議会に対する不信任が持ち上がりその整合性のズレが生じております。その事を踏まえ今後一層、議会議員として本来的役割を明確な自覚を持って、積極的に住民と向き合い、耳を傾けながら親しまれる分かりやすい議会運営を進めていく事を基本原始と捉え、今年は住民と向き合った議会議員活動を行ってまいりたいと思います。

私事として、長野県町村議会議長会会長として昨年6月から就任。全国豪雪地帯議長会副会長にも併せて就任しております。こうした立場を県、国に対して王滝村の実情を積極的にアピールしていきたいと思っております

加え、昨年11月に秋の園遊会に全国町村議会議長会の推薦枠の中で招待をいただき出席して参りました。その折りに天皇陛下、皇后・秋篠宮殿下、紀子様から各々にお声をかけられました。特に天皇陛下から『御嶽山噴火災害の折には大変ご苦労されましたね』と王滝村の実情など関心をもって訪ねられる中、私も王滝村の実情をしっかりと伝えてまいりました。

結びに、議会議員の申し合わせ(2年間)により改めて議長に選出され、その立場で働くこととなりました。議長として10年間を総括しつつ、本来的役割を果たしてまいりますので、変わらぬご支援ご協力賜りますようお願い申し上げますとともに、村民の皆様が目線に立ち「開かれた議会、信頼される議会」に広く傍聴の機会を設け環境を整えながら住民と向き合った運営を行って参ります。特に議員としての自覚と資質の向上、議会人のレベルアップを行い付託に応え正常な議会運営ができるよう議員ひとり一人の次元性を高める為に議員一同一層努力して参りまりたいと思っておりますので、一層のご理解、ご支援、お力添いを賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が王滝村、並びに村民の皆様方にとって良い年でありますようご祈念申し上げあいさつとさせていただきます



令和6年1月 王滝村議会議長 下出 謙介



12月定例会一般会計補正 1,651万円を追加

11月臨時一般会計補正では626万円を追加

12月定例議会は12月19日に開会、一般会計補正予算を含む議案全てを原案通り可決し、その日に閉会した。一般質問には、三浦征弘氏、吉田広史氏、倉橋孝四郎氏の3名が登壇した。

10月臨時議会

10月臨時議会は10月26日に開会、一般会計補正予算を原案通り可決。補正の主な内容は、橋梁長寿命化修繕に係る工事請負費などの追加計上など。

《補正予算の主な事業》

○林業費 69万円

- ・ 県治山林道協会負担金、木曾山林協会負担金の追加計上

○土木管理費 11万円

- ・ 県治水砂防協会負担金追加計上

○道路橋梁費 1,140万円

- ・ 橋梁長寿命化修繕に係る工事請負費と木曾広域連合設計監理分担金の計上等

※白洲橋の橋台部の増工での不足を補正。財源として過疎債1,130万円の追加計上

11月臨時議会

11月臨時議会は11月27日に開会、一般会計補正予算を含む議案全てを原案通り可決し、その日に閉会した。歳入歳出それぞれに626万5千円を追加し、総額を21億2,795万2千円とするもの。補正の主な内容は、人事院勧告に伴う人件費の追加計上など。

《補正予算の主な事業》

○総務費 190万円

- ・ 人事院勧告に伴う人件費の追加計上

○土木費 250万円

- ・ 過年度国庫補助金の過大交付分返還金の計上

○消防費 58万円

- ・ 御嶽山保安監視業務委託料の実績に伴う追加計上

○諸支出金 65万円

- ・ 第5クワッドリフト受電設備修繕に係る観光事業会計補助金の追加計上

12月定例会

歳入歳出それぞれに1,651万8千円を追加し総額を21億4,447万円とするもの。補正の主な内容は、木曾広域連合11月補正に係る分担負担金の計上で、主に人事院勧告に伴う人件費の補正に係るもの。

《補正予算の主な事業》

○総務費 398万円

- ・ 水と緑のふるさと基金寄付金増加による業務委託料の追加計上 157万円

- ・ 戸籍法改正による住基システム及び戸籍システム改修委託料の計上等 213万円

○民生費 990万円

- ・ 電力等価格高騰緊急支援給付金事業 798万円
- ・ 障害者福祉費 155万円

○衛生費 169万円

- ・ 村水会計4号補正に伴う繰出金の計上

○農林水産業費 47万円

- ・ 県森林地理情報システムの更新ソフト購入費の計上



12/9にオープンした御嶽スキー場



10月臨時会・11月臨時会・12月定例会の議案審議

議第76号（10月臨時会） **賛成多数**
一般会計補正予算について

- ◆林業費 69 万円、土木管理費 11 万円、道路橋梁費 1140 万円の追加計上。

議第82号（11月臨時会） **賛成多数**
公営企業観光施設事業会計補正予算について

- ◆第5クワッドリフト受電設備復旧費用の計上 130 万円

議第77号（11月臨時会） **賛成多数**
人事院勧告に伴う関係条例について

- ◆人事院勧告に準じて特別職、議会議員の期末手当の引上げや一般職の月額給の引上げ、期末及び勤勉手当。

議第83号（12月定例会） **賛成多数**
王滝村犯罪被害者支援条例の制定について

- ◆犯罪被害者等に対する見舞給付金として遺族見舞金 30 万円、重症病者見舞金 10 万円が定められた。

議第78号（11月臨時会） **賛成多数**
一般会計補正予算について

- ◆歳入歳出 626 万円を追加。

議第84号（12月定例会） **賛成多数**
国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

- ◆子育て支援の措置として国保世帯に出生被保険者がいる場合に減税される。

議第79号（11月臨時会） **賛成多数**
特別会計国民健康保険診療施設費補正予算について

- ◆期末手当等の追加計上。

議第85号（12月定例会） **賛成多数**
一般会計補正予算について

- ◆歳入歳出 1,651 万円の追加計上。

議第80号（11月臨時会） **賛成多数**
特別会計村営水道事業費補正予算について

- ◆職員手当等の追加計上

議第86号（12月定例会） **賛成多数**
特別会計国民健康保険補正予算について

- ◆国保税改修の計上と国民健康保険事業費納付金の補正

議第81号（11月臨時会） **賛成多数**
特別会計おんたけ高原簡易水道事業費補正予算について

- ◆職員手当等の追加計上

議第87号（12月定例会） **賛成多数**
特別会計村営水道事業費補正予算について

- ◆漏水調査委託（松越系統）、維持補修工事の追加計上

用語解説

◎人事院勧告とは

労働基本権制約の代償措置として、職員に対し、社会一般の情勢に適応した適正な給与確保する機能を有するものであり、国家公務員の給与水準を常勤の民間企業従業員の給与水準と均衡させること（民間準拠）を基本に勧告を行っています。これに準じて王滝村も条例の改正が行われました。

◎過疎債とは

過疎対策事業債は、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、過疎地域の市町村が過疎地域持続的発展市町村計画に基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められた地方債（借金）です。対象となる施設整備等に対して過疎債返済額の70%が国から財政支援されるので村の負担は30%になります。

一般質問

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

これからのスキー場問題について 三浦 征弘

問 過日一回目の会議を開いたそうだが、あの委員（下記の総務課が議員に示した名簿）で「村内融和は図れる...」と村長はお考えか？又結論はいつ頃か

答（村長） 「あの委員」の言葉は名誉棄損に値する。結論は7年の夏頃の予定だ。

問 結論が令和7年夏では遅過ぎる。もっと早くすべきだ。ましてあの委員は全くおかしい。委員は13名。これでは10対3で初めから不公平、それも村職員が3名が入っていることだ、職員は政治の決定に介入すべきではない。さらに社協職員も入っているのもおかしい、社協には村がカネを入れているからだ。さらに木曾町商工会関係として議会議員が二人入っていることだ、何故木曾町か？又何故議会議員がここに入るのか？業者の「シシ」が入っているのもおかしい。違うか？

答（村長） 多数決で決めることはしない。委員会は諮問委員会のようなものではない、最後は私が決める。2回目からは公開で行うことが決まっている

まとめ この問題の最終目的は「村内融和」だ。いつまでもスキー場問題で村内対立すべきではないからだ。そのための委員会の論議は「スキー場は廃止すべきか？存続すべきか？」の二者択一のはず。そのため賛否3人ずつを公募したからだ。それなのに他の者を入れている、それも職員、議会議員、業者の「シシ」まで。これでは「村内融和」など絶対で出来ない。職員（公務員）は政治の決定に介入してはいけない。又議員はこのような場に入るべきではない。要望あれば断るべきだ。それはチェック使命は果たせないからだ。「シシ」をこの問題に参加させたのも大きな間違い。「奇怪なこと」と言って過言ではない。この質問で村長は「『あの委員』の言葉は名誉棄損に値する」と言った。議長も「『あの委員』とはどうゆうことか！」と発言をした。この発言もおかしい、私の「あの委員」は、軽蔑のことでなく、総務課が議員に示した名簿を指している、これを議長は知っている、それは事前の「打ち合わせ会」（検閲？委員会）の時何ら発言しなかったからだ。これでは打ち合わせ会など無意味なこと、今後はやめるべきだ。

村長

一般：小谷達夫 植木雅史 田近哲也 小谷洋子 シュミット ウルリッヒ 丸山文広
木曾町商工会 倉橋孝四郎
木曾おんたけ観光局 胡桃澤公司
名古屋市民休暇村 宮村昌史
(株)シシ 岩掘翔太
総務課長 橋本悟志
課長補佐 河口 晃
係長 稗田和孝 計13名

中越区の太陽光発電について

問 この問題で村長は中越区民や全村民にどのような姿勢（説明）を示すか？

答（村長） 区長から村に要望書が出されたので条例にのっとり対応を考える。

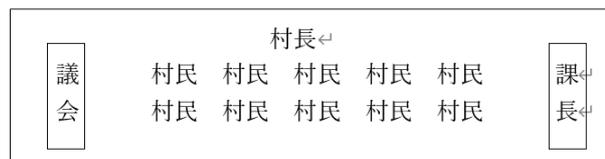
問 断るのか、認可するのか？

答（村長） それはこれから業者から申請があった時点で考える。

まとめ それでは遅い、村長や議長は設置に賛成でも反対でも区集会には出席し論議すべきだった。二人が欠席したのはどう考えてもおかしい。逃げていると同じ状態だ。

村民説明会のやり方について

問 今年の夏やった「村民説明会」のやり方は正常なやり方ではない、村長が語っているのに議長はじめ議員が村民の中に紛れ込んでいたからだ。正常なやり方は議会も参列することだ。図のように。違うか？



答（村長） 行政としての説明で議会は関係ないこと。

問 それはおかしいではないか、村民から議会にチェック使命をしなかったなどの責任追及が出ないともかぎらないからだ。

低所得者について

問 低所得者...とは、どの程度（年収）の者が該当するか？又王滝村には何世帯あるか？

答（福祉健康課長） 計算が複雑で一概には説明しにくい。村内には約100世帯と思われる。

まとめ 王滝村の世帯は約 370、その内の 3 分の 1 弱が低所得者、考えさせられるものである。

松原公園の王滝森林鉄道について

問 松原公園の王滝森林鉄道の完成に向けての担当は何課を予定しているか？

答(教育長) 教育委員会だ。

まとめ この問題は 9 月議会で確定しているが担当課が明らかではなかった不安があった。今回の質問と答弁で確認された。王滝森林鉄道の完成は間違いのないことだ。私は「東京?のクラブ」と「村内の林鉄クラブ」の双方に伝え、自身も協力するつもりでいる

王滝小学校について

吉田 広史

問 現在当村では子供の数が大きく減少している。そのような状況の中で、今後の小学校の存続について伺いたい。

答(村長) 村としては、極少数人数になったとしても小学校は存続させるべきと考えている。それは自治体に求められる最低限の義務であると考えている。

問 少数人数で学校を運営した場合、子供の教育環境としてはどう考えるか。

答(教育長) 子供の数が極端に減少するのは令和 13 年以降と予想される。小学校を存続するにしても、こども子育て会議や保護者、地域住民の意見を伺いながら、王滝村ならではの教育環境を整えることが、将来この村で子育てをされる方々にとって大切なことと考える。

問 役場職員も過去からこの少子化問題を認識し、ある程度予想はしていたと思う。何もしてこなかったとは言わないが、この問題を先送りしてきた感も否めない。後がない中で、今後の小学校のあり方や、保育園の受け入れ態勢、運営体制についても、他の町村の事例や体制を見て考えるということではなく、自らが先進事例となるという意気込みで取り組んでほしい。

答(村長) 他の事例も参考にしながら、さらにその先に行くような施策を考えていく。

人口減少化における村づくりについて

倉橋 孝四郎

問 王滝村人口ビジョン (R3) では将来人口の推計が、2030 年には 564 人、2040 年には、427 人となっている。割合は 0-14 歳は約 9%、15-64 歳は約 43%、65 歳以上は約 48%となっているが、その数字を踏まえつつ、どのような地域

を目指しているのか村長の考えを伺う。

答(村長) このような厳しい社会情勢の中で、当村においても村民が地域で安心して暮らしていくための生活基盤を維持していくために、将来にわたって行政サービスを持続可能な形で提供していくことが最も重要であると考えている。また、議員が質問の中で村の 2040 年の年齢 3 区分別の割合を示していたが、生産年齢人口の減少によって深刻な人手不足など地域の将来像に大きな影響を及ぼすことを危惧している。対応策として、移住・定住促進や地域おこし協力隊制度の活用、関係人口の創出などで地域に必要な人材を呼び込む取り組みを継続して行っていくことが重要だが、将来にわたっては、高齢者の雇用や社会参加を促進することが不可欠であると考えている。

問 村長が言われているように、高齢者の方の経験やスキルを活かした地域参入は人口減少下における当村にとって重要だと思っていて、今現在でも多くの方が活躍していて改めてその重要性を感じている。それと同時に、やはり子育て支援や教育環境を整える事もとても重要だと思っている。行政懇談会では子育て支援や教育環境の事が話題に上がった訳だが、その中で、教育大綱の話が出た。この教育大綱だが、策定する為に検討しているのか

答(教育長) 総合計画と整合性を図りながら進めていこうと思っている。村長が総合教育会議の場において教育委員会と協議をして調整をしながら決めていく事になるので行政・村長とも検討しながら大綱として作っていききたい。

問 県内のある地域では教育大綱に幅広い層の意見を反映させるために小中学生にもアンケートを実施し、教育の主役である子供たちの意見を取り入れる取り組みが行われている。中には「子供も個性を持った独立した人格」という理念を掲げている地域もあり良い取り組みだと思っている。教育大綱を策定する際は、教育の主役である子供達の意見を取り入れられる仕組みづくりをしてほしい

今後の地域づくりについて

問 地域づくりをする中で例えば、教育・福祉・産業・観光・防災・インフラ・移住定住・再エネ導入等の項目があると思うが、現在力を入れている項目、今後力を入れていきたい項目を伺う

答(村長) 現在力を入れている項目は関係人口の創出、ゼロカーボン、村有林の活用、子育て支援、定住移住促進、御嶽山安全対策、遊休農地の利活用、田の原再生事業などになる。今後は総合計画の 7 つの戦略プロジェクトを軸に評価見直しを行い、実施計画や予算編成などに反映

していきたい。令和8年度からの総合計画の策定にあたっては総合戦略会議、村づくり委員会、観光産業検討委員会、子供子育て会議、幅広い分野で村民や様々な立場の皆様と議論をしていただき、地域課題や目指す方向性を共有しながら協働による村づくりを進めていきたい

問 2024年2月で村長就任から2年経つ中で、印象的なのは愛知用水を軸とした上下流交流、森林を軸としたJクレジットや村有林の活用、田の原再生事業だと思っているが、それらの現状と今後の展望を伺う

答(村長) 村を知ってもらい関わる人、関係人口を増やしたいと思い上下流交流に力を入れてきた。来てくれた市町村・企業には可能な限り顔を出して村のPRや今後の交流について話している。いくつかの施策はあるが、新しいものを作るのではなく今ある村の資源を最大限活かす取り組み。村有林の活用として村・木曾町・大府市の3者で森林保全育成に向けた連携協定を結んだ。来年度に向けて調整しているが、村内で伐採した木を村内の製材所で製材し、木曾町で加工し、大府市の公共施設の内装木質化に利用するというのを検討している。また、現在まで管理されてきた村有林が吸収してきた二酸化炭素の吸収量を、クレジットとして国が認証するJクレジット制度については来年度、約3万6千トンの二酸化炭素吸収量を国の認証をうける見込み。このクレジットで得た収入を森林整備に活用していきたい。田ノ原再生事業としては、御嶽山の玄関口として、また、頂上に登らなくても楽しめる場所になるように老朽化や使っていない施設を解体し、飲食を提供できる施設の新設や減少した湿原を再生するため、湿原再生プロジェクトを進めている。また、県立大学と提携を結び2年目となるが、学生達が運動会・祭りの参加・秋の祭典を企画実行し、後日

成果報告会をし、多くの村民に共感をいただいた。今ある自然に活かされながら優しい村民と共に、関係人口を増やす取り組みを今後も行い、その事が移住定住に繋がればと考えている

問 林業や製材所は村の地場産業としてとても重要な産業だと思っている。今後も村内の事業者と協力しながら、展開していったほしい。

木曾広域連合議会 11月定例会報告

木曾広域連合議会は、令和5年第4回定例会を11月28日(火)に開会。提出議案は条例改正2件、補正予算3件の計5件で、全て原案通り可決し、その日に閉会した。

一般質問の通告者は木祖村の奥原当議員1名

○議案第31号 令和5年度 木曾広域連合 一般会計補正予算(第4号)

・歳入歳出それぞれ1,053万7千円を追加し歳入歳出予算の総額を47億9,635万6千円とするもの。

○議案第32号 令和5年度 木曾広域連合介護保険特別会計補正予算(第3号)

・歳入歳出それぞれ117万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を42億2,390万6千円とするもの。

○議案第33号 令和5年度 木曾広域連合下水道事業会計補正予算(第1号)

・収益的収入及び支出をそれぞれ155万4千円減額し、収益的収入及び支出予算の総額を1億3,087万5千円とするもの。

全員協議会

1. 木曾広域連合第9期介護保険事業計画(案)について
2. 不燃ゴミ処理施設の業務委託について
3. 森林整備協定造林事業の見直しについて



議会日誌

9月

- 21日 村議会9月定例会・第3回議会だより編集委員会
- 22日 治水対策協議会要望活動(岐阜市)
- 23日 おうたき保育園運動会・知事との対話集会
- 25日 長野県町村議会議長会政務調査部会
- 26日 国道19号線整備促進に係る要望活動(飯田市)・例月出納検査(8月分)
- 27日 御嶽山噴火災害犠牲者献花式(松原スポーツ公園)
- 30日 長寿を祝う会・自由民主党砂防事業促進議員連盟現地視察研修

10月

- 5日 長野県町村議会議長会役員会
- 6日 木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会(南木曾町)
- 16日 長野県町村会定期総会(長野市)・議会だより発行(162号)
- 17日 北信越町村議会議長会臨時会長会議(東京都)
- 18日 全国町村会都道府県会長会・全国豪雪地帯町村議会議長会総会(東京都)
- 21日 長野県戦没者追悼式(松本市)
- 23日 長野県町村議会議長会定期総会・木曾郡議員総会決議案の県への陳情
- 24～25日 全国監査委員研修会(東京都)
- 26日 10月臨時会・愛知県水道南部・北部ブロック協議会表敬訪問
- 27日 例月出納検査(9月分)
- 28日 大府市文化産業まつり

11月

- 2日 秋の園遊会(東京都)
- 6日 長野県後期高齢者医療広域連合議会打合せ
- 8日 木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟省庁等表敬訪問(東京都)
- 9日 中部国道協会促進大会(東京都)
- 10日 県への要望運動及び知事との懇談会(長野市)
- 13日 地方議会活性化シンポジウム(東京都)
- 16日 長野県後期高齢者医療広域連合議会(長野市)
- 21日 木曾広域連合議会経済観光常任委員会福祉環境常任委員会(木曾町)
- 21～22日 長野県町村議会議長会県選出国会議員への要望活動(東京都)
- 27日 11月臨時議会・第7回議会運営委員会
- 28日 例月出納検査(10月分)・広域連合議会11月定例会(木曾町)
- 28～29日 長野県町村議会議長会要望活動(東京都)
- 29日 町村議会議長全国大会(東京都)
- 30日 木曾郡町村議会議長会要望活動(東京都)

12月

- 1日 長野県町村議会議長会役員会(長野市)
- 4日 御嶽スキー場安全祈願祭・第6回村づくり推進特別委員会
- 11日 第8回議会運営委員会
- 13日 防犯指導委員会
- 18日 多治見砂防国道管内へり調査
- 19日 村議会12月定例会

請願陳情

12月定例会で審議された請願・陳情等は下記のとおりです。

○年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情(資料配布)

編集後記

「新年あけましておめでとうございます。」と本来ならば言いたいところですが、新年早々能登半島を中心とした大きな地震が発生し、多くの方々が被災されました。この寒い時期に本当に大変で、つらいことと思います。心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復興を願うとともに、今年がこれ以上大きな災害や事故がないことを、ただただ祈るばかりです。(広)

発行/王滝村議会
編集/議会だより編集特別委員会
長野県木曾郡王滝村 3623/(電)0264-48-2001